

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

<環境・体制整備>

2022.3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動に応じて、部屋や庭を使い分けている。
②	職員の配置数は適切であるか	○			基準の人数を満たしている。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関にやや段差がありバリアフリー化が困難である。

<業務改善>

④	業務改善を進めるためのPDCA（目標設定と振り返り）サイクルに、広く職員参画しているか		○		業務の前後やミーティングを定期的に行い、業務改善に努めている。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		今後もアンケートを行い、保護者の意見を反映出来るよう努めていく。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	○			HP等で公開している。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、業務改善出来るように努めていく。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		地域での研修情報を随時取り入れ、参加を呼びかけている。

<適切な支援の提供>

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に必要な応じた面談を行い、ニーズや課題に合わせて作成している。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントシートツールを使用している。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員で作成し実施している。
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			季節に応じた月間予定表作成し、様々な経験が出来るように立案し行っている。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			日々のスケジュールをきめ、活動や課題の計画を立て実施している。

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談や日常の様子に基づき、子どもの活動予定や課題を計画し作成している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日の職員会議で支援内容や役割分担について確認している。
⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有しているか	○			支援終了後にそれぞれが記録をし、職員間で子どもたちの様子を共有しており、報告・連絡・相談を徹底している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			児童記録を用いて日々支援内容を共有し、検証・改善に努めている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低6ヶ月に一度のモニターやケース会議、個別支援計画の作成の他、日々のミーティングで話し合いをしている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		外部・内部研修を通し基本活動の理解を深め、より良い支援を目指していく。

<関係機関や保護者との連携>

⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			その子どもの担当指導員が責任を持って参画している。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者から情報を頂きながら学校とも連携を図り、情報交換・連絡・確認を行っている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子ども主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療的ケアが必要な子どもはいませんが、受け入れる際は主治医や家族との連携を密にとっていく。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報を提供する等しているか		○		主に保護者からの聞き取りや相談支援との書面での情報共有が多い。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		相談支援事業所や障害福祉サービス事業所と連携を密にとり、情報提供を行っている。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今後はセンターで開催される研修会へ積極的に参加し、助言を受ける機会を作っていく。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後は、地域行事への参加等検討していく。

⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			事業所での様子などを連絡ノートに記載し、送迎時にも伝えている。
㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		連絡ノートや電話による相談対応、個別面談にて行っている。

<保護者への説明責任>

㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧な説明を心掛けている。
㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば、送迎時や電話等において直ぐに対応している。
㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後検討していく。
㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			マニュアル作成を行い、迅速な対応をしている。また記録に残し今後の対応に活かしている。
㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月一回予定表を発行している。来月の活動予定や子供たちの様子を掲載している。
㉘	個人情報に十分注意しているか	○			PCはパスワードで管理している。書類等は施錠した書庫にて管理している。
㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性把握に努めて配慮するように心掛けている。
㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後検討していく。

<非常時等の対応>

㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各マニュアルを周知していく。
㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	不定期で避難訓練等を行っている。

④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		今後、外部の研修会にも参加していく。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束はせず、指導員の配置を増やす等対応していく。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの聞き取りによる内容を職員に周知し、それぞれ個別に対応している。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事故. ヒヤリハットについては、記録に残し防止に努めている。